

都市公園における官民連携事業化検討に向けた サウンディング型市場調査結果の概要について

本県では、公園利用者の利便性向上や公園の魅力向上を図ることを目的として、都市公園における民間活力の導入検討を進めています。

この度、「鳴門ウチノ海総合公園」、「月見ヶ丘海浜公園」及び「新町川公園」の3公園を対象に、事業化の際に必要なとされる詳細な検討を進めるため、民間事業者の皆様から、御提案や御意見をお聞きする「サウンディング型市場調査」を実施しましたので、調査結果の概要を公表します。

サウンディング型市場調査とは・・・

事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、民間事業者との直接の「対話」を通し、事業に対して様々なアイデアや意見、新たな事業提案を把握する調査

1. 調査概要

(1) 対象公園

種別	番号	公園名称
総合公園	①	鳴門ウチノ海総合公園
	②	月見ヶ丘海浜公園
地区公園	③	新町川公園

(2) 対象者

調査参加申込みがあった法人・団体・グループ

(3) 実施方法

対面またはオンライン方式による個別対話

(4) 調査スケジュール

実施要領の公表 : 令和7年9月25日(木)

個別対話の実施 : 令和7年10月20日(月)～令和7年12月10日(水)

2. 調査結果

(1) 参加事業者数

7 事業者（5 社、2 グループ）

(2) 個別対話の結果概要

民間事業者の皆様からの主な御提案・御意見は次のとおり

《提案内容》

【①鳴門ウチノ海総合公園】

- ・カフェ、レストランの飲食施設
- ・グランピングやヴィラなどの宿泊施設
- ・コンテナを活用したサウナ施設
- ・アニメや e-スポーツをテーマにした体験施設
- ・公園に隣接する水域を活用した釣り施設

【②月見ヶ丘海浜公園】

- ・カフェ、レストランの飲食施設
- ・グランピング施設
- ・コンテナを活用したサウナ施設

【③新町川公園】

- ・コンテナ、屋台を活用した飲食施設
- ・地域交流のためのコミュニティカフェ
- ・キッチンカー設置エリアの整備
- ・新町川で水遊びできる環境（更衣室・シャワー等）の整備

《提案実現のための課題等》

- ・民間事業者のみによる施設整備や独立採算での運営は困難
- ・事業期間が短い場合、投資の回収が困難
- ・集客力を高めるには、公園自体が目的地となるようなコンテンツが不可欠
- ・公園のテーマや核となるターゲットの設定による差別化が重要
- ・周辺施設との事業連携やエリア一体の回遊性向上が必要
- ・提案事業者のみでは参画が困難であり、運営主体又は協力企業の参画が必要
- ・地元企業や各種関連団体との調整・合意形成が必要
- ・カフェを設置するには、駐車場の確保が必須

《事業期間》

- ・投資回収の観点から、最低でも 15～20 年程度の事業期間が必要
- ・宿泊施設を設置する場合は、事業期間としては、最低 30 年が必要

《事業手法》

- ・部分的な「Park-PFI 制度」の導入が考えられるが、その場合は「指定管理者制度」の併用が必要

《行政に対する要望等》

- ・行政による公園内のインフラ整備
- ・事業公募時における詳細な公園現況情報の提供
- ・ニーズ把握のための実証実験の実施
- ・柔軟な使用条件や適切な事業期間の設定
- ・官民での協議による適正なリスク分担
- ・各種関係団体との連携における行政の協力

3. 今後の予定

今回のサウンディング調査でいただいた御提案や御意見を踏まえ、民間事業者の皆様の参入に必要な事業条件や、各対象公園において考えられる事業手法を整理するなど、事業化の際に必要なとされる詳細な検討を進めて参ります。